

受験番号

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

〔ぼく〕は母親の入院している病院へ行くためにバスを利用している。初めて一人で乗った時、運転手の「河野さん」から停まってから歩くように叱られた。入院は長引き、買足したバスの回数券も最後の一枚となった。

母の前では涙をこらえた。病院前のバス停のベンチに座っていると、①必死に唇を噛んで我慢した。①、バスに乗り込み、最初は込み合っていた車内が少しずつ空いてくると、急に悲しみが胸にこみあげてきた。シートに座る。窓から見えるきれいな真ん丸の月が、じわじわとにじみ、揺れはじめた。座ったままうずくまるような②格好で泣いた。バスの重いエンジンの音に③紛らせて、うめき声を漏らしながら泣きじゃくった。

『本町一丁目』が近づいてきた。顔を上げると、車内には他の客は誰もいなかった。④コウシヤボタンを押して、手の甲で涙をぬぐいながら席を立ち、ウインドブレーカーのポケットから回数券の最後の一枚を取り出した。

バスが停まる。運賃箱の前まで来ると、運転手が河野さんだと気づいた。それでまた、悲しみがつのった。こんなひとに⑤最後の回数券を渡したくない。整理券を運賃箱に先に入れ、回数券をつづけて入れようとしたとき、A泣き声が出てしまった。

「どうした？」と河野さんが訊いた。「なんで泣いてるの？」ぶつきらぼうではない言い方をされたのは初めてだったから、逆に涙が止まらなくなってしまった。

「⑥サイフ、落としちゃったのか？」泣きながらかぶりを振って、回数券を見せた。

じゃあ早く入れなさい。とは、言われなかった。河野さんは「どうした？」ともう一度訊いた。その声にすうっと手を引かれるように、少年は嗚咽交じりに回数券を使いたくないんだと伝えた。母のこともしゃべった。新しい回数券を買おうと、そのぶん、母の退院の日が遠ざかってしまう。ごめんなさい、ごめんなさい、と手の甲で目を⑦覆った。警察に捕まってもいいから、この回数券、ぼくにください、と言った。

河野さんはなにも言わなかった。B、小銭が運賃箱に落ちる音が聞こえた。目元から手の甲をはずすと、整理券と一緒に百二十円、箱に入っていた。もう前に向き直っていた河野さんは、少年を振り向かずに、「早く降りて。」と言った。「次のバス停でお客さんが待っているんだから、早く。」声はまた、ぶつきらぼうになっていた。

(重松 清『小学五年生』より)

問一、Ⅱ線部⑦～⑧のカタカナを漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

ア	イ	ウ	エ	オ
カ	キ	ク	ケ	コ
サ	シ	ス	セ	ソ
タ	チ	ツ	テ	ト
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ	ユ	ユ	ヨ	

問二、Ⅰ、Ⅱにあてはまる最も適当な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) かわりに (イ) また (ウ) 反対に (エ) でも (オ) そして

Ⅰ	Ⅱ
---	---

問三、Aにあてはまる最も適当な言葉を次から選び、記号で答えなさい。

- (ア) いよいよ (イ) だんだん (ウ) とうとう (エ) ますます

--

問四、Ⅰ線部①「必死に唇を噛んで我慢した」とあるが、「ぼく」は何を我慢していたのか答えなさい。

--

問五、Ⅰ線部②「最後の回数券を渡したくない」とあるが、その理由を本文中から三十五字以内で抜き出し、初めと終わりの五文字を答えなさい。(句読点を含む)

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

受験番号

二、次の文章は、『竹取物語』の一場面で、かぐや姫に結婚の条件として求められた「火鼠の皮衣」を持って右大臣が現れた場面である。文章を読み、後の問いに答えなさい。

かぐや姫、翁おきなにいはいく、「この皮衣は、火に焼かむに、焼けずはこそ、まことならめとア思おもひて、人のいふことにも*負けめ。『世になき物なれば、それをまこととイ疑うひなく思おもはむ』とのたまふ。なほ、これを焼きてウ試こみむ」といふ。
翁、「①それ、さもいはれたり」といひて、大臣に、「かくなむ申す」といふ。大臣答へていはく、「この皮は、*唐土もろこしにもなかりけるを、からうじて求め尋ね得たるなり。なにの疑ひあらむ。』さは申すとも、②はや焼きて見たまへ」といへば、火の中にうちくべて焼かせたまふに、めらめらと焼けぬ。「さればこそ、③異物いぶつの皮なりけり」といふ。

(注) *負けめ―従いましょう *唐土―中国

(『竹取物語』より)

問一、||線部ア~ウを現代仮名づかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。

<small>ア</small>
<small>イ</small>
<small>ウ</small>

問二、―線部①「それ、さもいはれたり」とあるが、「誰が」、「誰に」言った言葉か答えなさい。

「誰が」
「誰に」

問三、―線部②「はや焼きて見たまへ」を現代語訳にしなさい。

問四、―線部③「異物の皮なりけり」とあるが、「異物の皮」とはどういうことか答えなさい。

三、次の―線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 緊迫きんぱくした試合展開しあひげんだ。
- ② 我流われりゅうで物事を進める。
- ③ 商品を陳列ちんれいする。
- ④ 時計を紛失まごした。

①
②
③
④

四、次の―線部のカタカナを漢字で答えなさい。

- ① 話し方にカンキユウをつける。
- ② 運動会でキバ戦を行う。
- ③ 人生のブンキ点ぶんきだ。
- ④ 犯罪者をタイホたいほする。

①
②
③
④

五、次の①~④の語が対義語になるように□からひらがなを選び、漢字に直して答えなさい。ただし□に入る漢字は一字のみとする。

① 利益 ↑ ↓ □ 失	② 建設 ↑ ↓ 破 □	③ 理性 ↑ ↓ □ 情	④ 協力 ↑ ↓ □ 害
かい ・ ぼう ・ かん ・ せん	①	②	③
	①	②	③
	②	③	④
	③	④	
	④		

六、次の①~④の四字熟語から間違っている漢字を答えなさい。また、その漢字を正しく直しなさい。

- ① 本末点倒
- ② 難航不落
- ③ 時代策誤
- ④ 自我自賛

①	正	誤
②	正	誤
③	正	誤
④	正	誤